

東濃農林事務所の普及活動状況

令和6年3月

ぎふ農業・農村を支える人材育成

■瑞浪市 農事組合法人通常総会を開催

瑞浪市土岐町の農事組合法人は、3月1日、第8回通常総会を開催した。県営中山間地域総合整備事業のほ場整備を契機に組織化された集落営農法人であり、法人設立から8年が経過、経営面積も設立当時と比べて約2倍に拡大している。また、若い農業者も組合員となり、地域の水田農業の中心的経営体となっている。

近年は高温耐性品種「にじのきらめき」の作付け拡大が進み、次年度は新たに加工用米の現地実証にも取り組む予定である。

今後も当該地域の主要な担い手として活躍が期待されているため、毎月の理事会の中で栽培技術の研鑽と経営の情報共有を図りながら関係機関と連携のもと継続支援をしていく。



【通常総会の様子】

地域資源を活かした農村づくり

■品目・指導対象等 たじみ農産物出荷協議会 役員会を開催

たじみ農産物直売所出荷者協議会は、3月14日多治見市役所において役員会を開催した。

役員会では、本年度実績と次年度計画について報告があり、最近は、コロナ禍以後、高齢者を中心に来店者が少なくなり、売上も減少傾向であることから、今後は、イベントの開催など対策を検討していくとのことであった。

農業普及課からは、4月から農作業が本格化するが、例年、この時期に農作業事故が多く発生していることから、農業機械の基本操作を守ることや無理のないスケジュールで作業を行うよう注意喚起を行った。



【農産物直売所イベントの様子】